



全国学力・学習状況調査

太中生の学力はいかに？

4月19日（火）、3年生を対象に全国学力・学習状況調査を実施しました。昨年度はコロナ禍で5月の実施でしたが、今年度は例年の予定日に実施されました。多額の公費がかかっているこの調査を、その金額以上に活用し、生徒の総合的な学力向上につなげていきます。



試験は常に自分との戦い

(ドラゴン校)

過去の調査結果から、秋田県の子どもの学力が全国トップクラスであることは御存知のことと思います。本県では、これまで教育に関して



様々な施策を講じ、子どもたちの学力の向上を目指してきました。その一つとして、本来学校では児童生徒数や学級数によって教職員の定数が決まっていますが、本県ではその定数に加え、多額の教育予算を投じて加配として人的措置を行うなど、きめ細かな学習指導ができるようにしています。そうした施策と相まって、本県教員による適切な学習指導(各学校が自校の実態に応じ、子どもたちの学力の向上を目指す取組を工夫)や家庭教育、子どもたちの家庭学習の習慣等が過去の好結果をもたらした一因であるとの声もあります。また、そのような取組を学ぼうと、全国各地から多くの教育機関や教員が本県や本市を視察に訪れ、高い評価も得ています。

調査の在り方や結果の公表等については、いまださまざまな考えがあるところですが、改めて、調査の目的や内容等についてお知らせします。

【調査目的】

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上のため、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、改善を図るため。
- ◇ 学校が、自校の児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導や学習状況の充実・改善に役立てるため。
- ◇ これらの取組を通じて、国や各教育委員会、学校が教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するため。

【調査事項】

■今年度の中学校調査は、国語、数学、理科

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとし、調査問題では、①と②を一体的に問い、記述式の問題も一定の割合で導入。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

■生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

○児童生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (例)・朝食を毎朝食べている？
- ・自分にはよいところがあると思う？
 - ・難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している？
 - ・理科の勉強は好き？
 - ・読書時間は？
- など

○学校の指導方法に関する取組、人的・物的な教育条件の整備状況等に関する質問

- (例)・授業の改善に関する取組は？
- ・指導方法の工夫は？
 - ・学校運営に関する取組は？
 - ・家庭・地域との連携の状況？
- など

本調査では、今後文部科学省で成績・結果を集計し、調査結果等が公表されます。本校では、その結果や本校の状況を本部報やPTAでお知らせします。また、学習状況や問題ごとの結果を分析するとともに、一人一人に個表を配布し、子どもたちに自分の状況を理解させながら、正答率が低い事項については復習や個別指導などでフォローアップに努めていきます。